

宇治情報

No.81

(体験集通算 431号)

宝 蔵

大祭に代わる霊牌供養が執り行われ
百十六万柱の御霊様が祭祀されました

生長の家宇治別格本山理事・練成部長

長

田

忍

合掌ありがとうございます

八月初旬に送らせていただいた『大調和の神示』のペン字写経はもう皆様のお手元に届きましたか。今日も感謝とお礼の手紙や電話などが続々と届いています。紙上を持ちまして改めて練成部一同感謝申し上げます。

感想には「写経を見た瞬間、感謝感動の涙が溢れた」「写経を仏壇に供え聖経読誦と一緒に毎日拝読している」「いつも持ち歩く手帳に挟んで携帯している」など、思わぬ反響の大きさに私たちが励まされています。

皆さんの喜び即私たちの喜び

この喜びのこだまをこれからも益々拡げて参りたいと切願しています。

さて、新型コロナウイルス感染症防止のため二年続けて宝蔵神社盂蘭盆供養大祭が中止となりました。例年大祭の行われるこの時期、九州や中国地方を始め、全国各地に記録的な豪雨が降り続きました。



被害を受けられた方々には心より御見舞い申し上げます。

琵琶湖を水源とする

宇治川を堰き止める天ヶ瀬ダムの中の三つの排水門が全開され、五十m八レーン公認プールが一日二十六杯もできる毎秒七百六十三m³の水量が放流され続け、もうかれこれ二週間以上になります。雨の降り出し直後から川はミルククーヒー色の泥水と化し、本山上流の川幅が一段と狭隘になる所では水位が一举に高くなり、府道の下すれすれに高速道を車が群走する如く、波頭をぶつけ水しぶきを上げられ先に流れ去ります。宇治市は十三日夜の大雨で大津に向かう「府道大津南（次頁に続く）」

郷宇治線」をしばらく通行止めしました。

断続的な雨の中八月十七日早朝から『送霊祭 みたまぬきの儀』続いて『霊牌奉送の儀』が行われ、本山員と業者の方約八十名が奉仕員となり、宝蔵神社霊殿の霊牌奉安箱千十三箱に奉安された約三百七十七万柱の御霊ぬきされた霊牌を浄火炉内に運び入れました。

翌十八日午前に予定されていた『送霊祭 浄火の儀』は雨が降ったため二十日早朝に順延され、天候の回復した二十五日に霊牌焼納が行われました。

また十八日午後一時からは、今年全国からお盆に送ってこられた約百十六万柱の内、最後の霊牌合祀祭で約二十六万柱の霊牌を招霊し、宝蔵神社霊殿に新たに祭祀致しました。

ところで今年には海外から申込みのあった『霊牌供養のための祭祀者名簿』を基に、練成部の職員九名で霊牌を代筆致しました。

私の机上に偶然にも以前アメリカから一般練成会に参加されたAさんとBさんの申込名簿が置かれていました。

その後も時々メールでやり取りしていただきましたので、懐かしく次のようなメールを送りました。

「台掌ありがとうございます」

昨日、不思議なことがありました。今年の夏の大会に代わる霊牌合祀祭のため海外から送られてきた名簿を基に霊牌に代筆していました。

約千二百柱の内から五十柱程を担当して書かせていただきました。その中になんとあなたが申込まれた名簿があるではありませんか。心を込めて御霊様の霊牌を代筆させていただきました。偶然とはいえこんなことがあるのです。再拝」

するとAさんから早速返信が来ました。

「台掌、ありがとうございます。私はいただきましたメールを読み嬉しくて有難くて、今、何も手につかない状態です。今夜は眠れないかもいれません。本当にありがとうございます。また！再拝」

飛び上がって悦んでくださっている情景が言葉に溢れていました。

続いてBさんからもメールが届きました。

「コロナで長い間、日本にも行くことができません。今日はこちらでは八月十五日です。日本ではお盆なんだなあ、と三日ぐらいから思っていて、宇治では盂蘭盆供養祭をやっていたらいてるんだなあ、とずっと思っていました。

宇治はいつも私の魂の故郷です。父母がなくなり実家がなくなっても宇治があるので異国にいても何故か帰るところがあると思えることが本当にありがたいです。本当に魂の故郷なんです。

私の分の霊牌代筆をしていただいたこと感謝感激です。うれしいです。本当にありがたいとございました。きつと御先祖様達も喜んでいらっしゃるのだと思います。嬉しいご縁です。このことは『日時計日記』に書きますね！

また宇治でお目にかかれることを楽しみにしています。」

異境の地にあり遠く故国日本に心を

馳せ「魂のふるさとー宇治」を想うと、心の安らぎを覚えられたのでしよう。ご先祖様も霊界でさぞや悦んでくださっていることでしょう。霊牌供養をして一層深い絆を感じて胸が熱くな

随想

神様の願い

祈願部 千羽 真平

練成部から神癒祈願課に異動となり四ヶ月が経ちました。大きな実相額の前で一文字一文字に祈りを込めること、掌を合わせ、実相を祈ること、聖經を誦げること、全てが日常に溶け込みつつあります。

異動初日に教わったことは、「講師が癒すのではない」ということでした。祈る者の役目は、神様の癒しにお繋ぎするパイプにすぎない。ならば、パイプの役目は神意をそのままお繋ぎできるように、詰まりや歪みのないことだと肩の力が抜けて楽に、祈りに入ることができました。

毎日安心して「実相圓滿完全」とお祈

りました。全国の信徒の方々から「宇治は魂のふるさと」と慕われる尊いところで、務めることができたことを心より感謝しています。

りにしていると、皆様の「祈り」や「願い」が、既に完全であると思えてくるのです。私たち一人一人が神の子であり、その神の子から湧き起こってくる願いは、私たちを通して顕れた「神様の願い」そのものです。圓滿完全な実相が今まさに顕われてこようとしているからこそ、成就に先立って、まず「願いたい」という気持ちが起こってくるのです。つまり私たちが「祈願を出したい」と思った時すでに、成就は始まっているのです。祈願を出そうと思えた時は、辛く悲しい時ではなく、まさに神様と波長の合った時、即ち一層善くなる時であると、ここに来てハッキリと教えていただいている気がします。

そうして全世界より届く祈願の中身は愛の心ばかりです。大切な人の健康を願い、幸福や繁栄を願い、また自分自身の幸せを願う。そんな心が溢れた



「愛の願い」は「神は愛也」とある通り、やはり「神様の願い」でしかありません。

だから講師の役目は、一枚一枚にただ「おめでとう」と祝福してお送りすることだけだと感じています。お一人お一人に顕われた「神意」と、それを素直に感受した皆様をただただ祝福讃嘆する毎日です。

『法華経』に常不軽菩薩は、出逢う人ごとごとくを「仏になる人」と敬い捧んだとあります。「いずれ仏に成る人」とありますが「仏の鳴る人、仏の成れる人」と捧んでおられたのだらうと思えます。そうしてお一人お一人を捧んだ常不軽菩薩が生まれ変わり、お釈迦様になられたのです。お一人お一人の実相を敬い捧む毎日が、どれほど尊くありがたいことであるか。まだまだその片鱗に触れるだけではありませんが、直接お会いすることが難しい今、皆様からの神癒祈願を心よりお待ちしております。

『大調和の神示』ペン字写経のお礼状

〔注〕ペン写経発送対象者は、令和三年八月号『宝蔵』二部以上購読者の方です。〕

K. R ①

開封してびっくり！そして大感激でございませう。うれしくて、うれしくてこんなに思いがけないこと、今、あるのですね。亡母から教えられて、写経は大好きで私も毎月、月初めに必ずさせていたのですが、宇治の講師の方々の写経を頂き、母の仏前に供えて、ただただ感激でございませう。

K. R ②

今、仏前で『甘露の法雨』をあげていましたら、亡母が「お礼を」と。昨日お礼の絵ハガキを出した時には気がつきませんでした。申し訳ございませう。

実は、父母は旧満州パルピンで生長



戦で満軍反乱の弾丸を受けて戦死。私たちは（母、私小三、弟小一、妹四才）昭和二十一年十月二日、父の実家に引き上げて参りました。

そして、皆さまに支えられ助けられ成長し結婚。母は平成九年に九十六才で皆に見守られ、おだやかに昇天いたしました。ほんとうに生長の家のおかげでございませう。

おはすかしいのですが、母にうながされ、わずかばかりではございますがここに感謝金をお送りさせていただきました。よろしくお願ひ申し上げます。

昭和十一年九月二十七日生まれの私

の家にふれておりまして。満州国

軍の技術将校だった父は、ソ連参

には『大調和の神示』の写経は別格でございませう。

A. C

私の名前入り祝福祈願が講師の方々の素晴らしい愛念で結ばれた『大調和の神示』が届きました。感動いっぱい！唯有難しです。年始には「今を生きる」の色紙が届き、万歳をして喜びファイルに入れ、ピンで止めて毎朝の笑いとききバンザイをして喜んでおります。この頃自分の実相顕現を祈ってほしいな…と思っていたのです。神さまに感謝。

T. M

『大調和の神示』ペン字写経を受け取りました。直筆で書かれており、感動

で「ジーン！」として涙が出そうになりました。毎日持ち歩きたいくらいです。講師・職員の皆様、いつも本当にありがとうございます。

E. S

本日は真心こもった写経を戴き感激致しました。感謝申し上げます。大切に、大切に持って行動したいと思っております。百倍の力を得たよう毎日の生活が守られている、明るくなった様な気持ちです。『大調和の神示』を常に常に胸にとめて生活して参ります。皆様の御厚意に感謝申し上げます。

N. Y

『宝蔵』と一緒に心温まる写経に悦びと感謝に満たされ、急いでご先祖様に読誦させていただきました。思うように行動のできない現状の中で、最高の宝物を頂いた事で折れそうな心も神に護られている事を改めて教えていただきました。ありがとうございます。

F. H

コロナ禍の中、早朝行事を始め常に私たちにあらゆる方法で真理を伝え続けていただいておりますことを心より感謝申し上げます。

この度は練成部の方々の篤い祈りが込められました『大調和の神示』のペン字写経をお送りいただき、皆様の真心にただ有難く感謝の思いでいっぱいでございます。

毎日、一字一字に合掌して拝読させていただき、コロナ禍を朗らかに元気で乗り切っていきたいと存じます。ご愛念本当にありがとうございます。宇治練成部の益々のご発展と皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

S. K

この度は、講師はじめ職員六名の方々が写経された『大調和の神示』を送っていただきありがとうございます。

お手紙の中では練成会が中止となつて、早や一年半が過ぎたと書いてくださっていますが、通信を介してではなく、直接会つてご指導頂ける日が待ち遠しく思います。

ご安心ください。私も、神想観、聖典読誦、愛行に励んでおります。

写経を送っていただいたことで、私自身も、この『大調和の神示』を写経しようと思わせていただいたことに感謝いたします。

いつか、いえ、まもなく、練成道場で講師の皆様とお会いできる日を楽しみにして止みません。

まだまだ暑い日が続きますが、お体にはご自愛下さい。益々の皆様のご発展をお祈りいたします。



S. R

この度はまた、お心のこもった『大調和の神示』の写経、ありがとうございます。ありがとうございました。

一人一人のために手書きしてください、そのお心、ご愛念に感謝いっぱい。いつも本当にありがとうございます。

大聖師谷口雅春先生の御心を受けて沢山の方々の無我献身のご奉仕によって建立されて、本当に尊き宇治別格本山です。参詣出来ること、練成に参加出来ることの有難さを感じます。

大聖師のお心を受け日々ご先祖さまへの感謝の祈りをしていただけること、有難く、心を合わせ感謝の祈りをして行きたいと思えます。

『宝蔵』七十八号よりの掲載、宇治別格本山の歴史、興味深く読ませていただいております。また「宇治探訪宇治神社」の記事も、内容深く歴史を感じ、楽しみに読ませていただいております。色々興味あることを教えていただき

りがとうございます。

いつか、素晴らしい尊き宇治別格本山にお詣り出来、皆さまにお目にかかれ、祈り失礼致します。ありがとうございます。

〈追伸〉

私の実家は盆、正月には、いつも兄弟姉妹一緒に集まって先祖のお墓詣りをする習慣でしたが、昨年より中々集まれません。皆連絡し合ってそれぞれに元気でいてくれること、何より有難く、ご先祖様の御守りあらばこそと感謝し喜んでおります。

T. A

常に私達信徒のために温かいご愛念、お導きをいただきますこと、厚くお礼申しあげます。

この度はご多忙の中、心のこもった講師・職員の方々からの『大調和の神示』の写経をお送りいただき、ありがとうございます。大事に大事にして身につけていただきます。

コロナウイルスの感染が早くに終息

し、宇治での練成等が再開することを祈っております。ありがとうございます。

M. K

毎朝、私達宝蔵会員にあなたがかいご愛念を送っていただき、感謝申し上げます。

又、一昨日は六名の講師の方々職員様による『大調和の神示』のペン写経をただ只、ありがたく、仏壇にお供えし、毎日、一緒に拝読させていただいております。一文字一文字を目で追いつつ、込められた皆様のお心に感謝しつつ。ありがとうございます。練成部の皆様もご自愛くださいませ。

E. A

この度は、『大調和の神示』ありがとうございます。ありがとうございました。

講師の皆様のお名前・自分の神の子名を見て涙があふれ出てきました。ありがとうございます。

練成部の皆様ありがとうございました。

S. Y

『宝蔵』を開けまして、驚きました。

宇治別格本山の 歴史 — 〈4〉



宝蔵神社 厳かに 落慶式を迎える

献芳練成会運営の講師、本山員と参

この様にしてお祈りくださいます講師の方々には感謝ばかりでございます。義理の弟からもお礼があり、とてもびつくりで喜んでいました。神棚にお供えしてお礼を申し上げました。お礼の言

加者の方々の尊い働きにより、人力により整地された場所に、まず宝蔵神社が建立されました。

昭和三十五年八月十八日から五日間、谷口雅春先生、谷口輝子先生、谷口清超先生、谷口恵美子先生ご出席の元、厳かに宝蔵神社落慶大祭は執り行われました。

行事は落慶式と盂蘭盆供養大祭と落慶記念特別大講習会の三部からなり、北は北海道、南は沖縄、海外からも加えて、延べ七千人を超える信徒が参集しました。

昭和三十四年二月二十三日谷口雅春先生の「鋤入れ式」が行われ五百十五日、延べ六万二千二百四十名の人々の手によって、出来上がった宝蔵神社は、本殿は藤原後期の建築様式と神道、仏教、キリスト教の三つの建築様式を調和した形で取り入れた鉄骨、鉄筋

葉もございません。私はこれからも写経をつづけて毎月お送りさせていただきます。「世界平和」「日本国実相顕現」「生長の家」のおかげで大安心の光の中に包まれております。



コンクリート 建。拝殿は地下一階、地上二階の寝殿造り、五千人収容の大拜殿。

参拝者はその見事な偉観におどろき、口々に歓声を上げ、「一歩足を踏み入れたら嬉しくて涙が止まらなかつた」「想像以上の荘厳さ、ただ感激！」「神社と寺院の建築様式が渾然一体となつてまことに万教帰一の精神」等々・・・口々に感動を語られました。

この日とりわけ人々に感銘を与えたのは谷口清超先生のご挨拶でした。清超先生は宝蔵神社建立の意義は、まことに深いものがあることを概略次のようにお話しされました。

(10頁に続く)

令和3年 8月
宝蔵神社 霊牌 供養



17
日

《みたまぬきの儀》



《霊牌奉送の儀》



▲雨が降りしきる中、霊牌は無事浄火炉に納められました。



◀◀霊殿から運び出された霊牌を浄火場へ

18
日

《霊牌合祀祭》



▲霊牌を霊殿に奉安します



◀
浄
火

《浄火の儀》

「浄火の儀」は雨天のため
20日に順延となりました。

20
日



◀この日は午後の予報が雨だったため、一部の霊牌のみ焼納しました。



▲聖經読誦

※その他の霊牌は晴天の25日に焼納しました。

(7頁から続く)

「昭和五年に谷口雅春先生が『生長の家』という雑誌をお出しになって、初めは宗教の形ではなく、純粹に精神運動として発足してあります。万教帰一の精神は発祥のときからそうであって、色々の宗派の形式、儀式などはそれぞれが違っていてもその説いている教えの真髄は一つである。一つでなければ本當の宗教というわけにはいかな」というのが万教帰一の真理であるのです。生長の家には仏教の方も、キリスト教も神道の方もその他いろいろの宗教の方もそのままに生長の家をやっておられて、御祖先伝来の宗教の神髓がよくわかるということで、これが本當の宗教を生かすところの生長の家であると喜ばれているわけです。

それでも多くの信徒のなかには、生長の家のやりかたで先祖の供養をしてもらいたいと希望する人も多くあって、生長の家独特の祭礼の形式が生まれる。生長の家という団体が生命のまとまりをもっている関係上、一家の中にも仏壇を設けられている部屋があったり、神棚の部屋など、清浄な場所が設けら

れると同じような意味において、人類光明化運動というひとつの生命体の中に於いて、一か所そういう霊界と直通するところの場が設けられてくるということは、当然の成り行きであったわけです。宇治の宝蔵の地が、生長の家の運動の霊界と直通し、交流するところの聖地として設けられて、このようにな立派な殿堂の建設となってきたということは、生長の家全体のここは仏間であり、神殿ができたというわけでありませう。

現在国内外を見ても問題山積の状況の中で、人類救済を進める重大な使命を帯びている生長の家の人類光明化運動の霊的基盤として、我々一人一人がこれからは霊界からの祖先の加護を受け、これに即応して日々の生活の中で真理を行じていくということにならなければいけないのであって、そういう意味からも宇治の地に宝蔵神社が建設された意義はまことに重大であると思ふのであります。」

三日目の八月十九日、谷口雅春先生が四人の祭員と共に、神殿に進まれ「生

長の家大神 大国主大神 観世音菩薩 地藏大菩薩 阿弥陀如来」の五柱の諸神諸仏諸菩薩を宝蔵神社の祭神として鎮座の儀が執り行われたときでした。

当日は一点の雲もなく、晴れ渡っていたのですがその瞬間、実にその瞬間宝蔵神社の蓋の上に白く連珠をなして輝く雨が、神社の真上だけに降り、それが終わると光明燦然と日が射したのです。この奇瑞を見たのは当日大祭役員をしていた数名の白鳩会の婦人と工事関係者のひとりの職人さんだけでした。その中の一人は拝殿の廊下越しにそれを見ていて、その辺り一様に降ったのであろうと思っていたのに、後で見ると神殿の周囲につんだ四角の玉垣の内部だけに真四角に降った跡があり、玉垣の外の地面は全然濡れていない奇瑞に、身体がゾクゾクとふるえだしたということでした。

このような神秘的な現象も顕われて、落慶記念大祭は喜びの内に終了しました。

(日本教文社刊『魂のふるさと宇治』より)

〈神癒祈願のお礼状〉



無事出産しました

T. I 〈女性〉

四月から早産の心配があり、娘は実家で静養をしております。お陰様でこの度、予定日より二日早く出産致しました。皆様のご誠意のためものと、心より感謝申し上げます。一人目の子を出産するときには、後産もかなり辛いものだったらしく、本人も大変心配恐怖を感じておりました。今回は神癒人型を身に付け、心強く挑むことができました。心の支えの重要さを感じさせていただきました。母子ともに元気です、五日後には退院できました。今は忙しいながらも有難く、新しい生命

の生命力を感じながら、生活しております。ありがとうございます。この感謝の気持ちを持ち続けて、信仰心を深めてまいります。誠にありがとうございます。

脳梗塞から復帰

R. K 〈女性〉

六月に主人が倒れ、すぐに誂友さんが神癒祈願の申し込みをしてくださいました。少し前にも自宅で倒れて病院に運ばれましたが、その時は何でもありませんでした。今回二度目の脳梗塞の発見が遅れたため、病院の先生には寝たきりになるかもしれない、と言われました。祈願のお陰で、今はリハビリステーションに移り、毎日リハビリに頑張っています。主人は早く家に帰りたいと言っております。話すことができるので、とても有難いです。本当にありがとうございます。

孫が無事に退院できました

K. Z 〈女性〉

七月に長女が出産しましたが、吸引分娩の難産でした。孫はすぐに泣くことはなく、頭蓋内出血を起こしてそのまま入院となりました。知能障害を持つかもしれないと言われましたが、幸い障害が残ることもなく大丈夫でした。ただ、退院の時に黄疸が出ていたので、検査をすることになり神癒祈願を出させていただきました。速達で人型を送っていただき、心より感謝しております。異常なしということで、胸をなでおろしました。一ヶ月検診も無事に終わり、健やかに成長しております。私の愛情不足が長女の精神病を重くさせていたことに、気づかせていただきました。今は、心から長女に感謝しております。長女も心を開いてくれるようになりました。ありがとうございます。

◆ オンラインによる対面個人指導（無料）を行います ◆

※ご希望日の3日前までにはお申し込みください。

時間：9：20～12：00・13：00～16：00

担当講師：長田忍本部講師・清水志郎本部講師・榎本一子本部講師補
岡田浩二本部講師補・田野靖彦本部講師補
(担当講師のご希望はお受けできません)

条件：zoom かメッセージングをご自分で繋がられる方

お申込み方法：メール rensei@uji-sni.jp または Facebook 練成部ページへ
メッセージで**お名前（ふりがな）・電話番号・ご希望日時**を
ご送信ください。
担当講師等、こちらより返信いたします。

練成会は
令和3年9月
まで中止です



再開につきましては
ホームページ又は
Facebook・お電話で
お問い合わせください

9・10月練成会案内

- 一般練成会
9月15日 ~~中止~~ 21日 (火)
- 幸福な結婚のための練成会
9月24日 ~~中止~~ 26日 (日)
- 短期練成会
10月1日 ~~中止~~ 3日 (日)



9月宇治別格本山で行われる行事

- 11日(土)10:00～ 自然災害物故者慰霊塔月次祭 **※無参列**
- 13日(月)10:00～ 宝蔵神社月次祭(ライブ配信) **※無参列**
全国流産児無縁霊供養塔供養月次祭 **※無参列**
- 19日(日)10:00～ 末一稻荷神社月次祭・精霊招魂神社月次祭 **※無参列**



宗教学人生長の家宇治別格本山
京都府宇治市宇治塔の川32
Tel.0774-21-2151
www.uji-sni.jp/

ISO 14001 認証取得